

## 第27回 奈良県営競輪あり方検討委員会 議事録

1. 開催日時：令和7年12月22日（月）14：00～14：25

2. 開催場所：奈良県営競輪場 飛天交流館2階

3. 出席者

【出席委員（五十音順 敬称略）】

松岡委員長、石川委員、石黒委員、上垣委員、西川委員

【事務局】産業部 森本部長 奈良次長

経営支援課 高木課長 間林課長補佐 川村係長

競輪場 池田場長 田淵次長

ほか3名

4. 公開・非公開の別

公開

5. 議題

I 今後の方向性について

II その他

＜高木課長＞

それでは定刻となりましたので、ただ今より「第27回奈良県営競輪あり方検討委員会」を開催させていただきます。

委員の皆様方には、大変お忙しいところ、ご参集いただきましてありがとうございます。

私は事務局を担当しております、奈良県経営支援課長の高木でございます。

本委員会は、平成24年9月に第1回目を開催した後、前回、本年7月まで、26回の委員会を開催し、各委員の皆様から貴重なご意見を賜って参りました。

本日は、今後の方向性についてご審議いただくため、お集まりいただきました。

委員5名のうち5名のご出席をいただいておりますので、「奈良県営競輪あり方検討委員会規則第6条第2項」で定める、会議を開くための定足数である「委員の半数以上の出席」を充たしておりますので、本日の会議が有効に成立することをご報告申し上げます。

それでは、僭越ながら事務局より、本日ご出席の委員の皆様を紹介させていただきます。

早稲田大学スポーツ科学学術院 院長 松岡宏高様。

＜松岡委員長＞

松岡です。よろしくお願ひいたします。

＜高木課長＞

i i f u 1 株式会社 代表取締役 中小企業診断士 石川聖子様。

＜石川委員＞

石川です。よろしくお願ひいたします。

＜高木課長＞

おおみね法律事務所 弁護士 石黒良彦様。

＜石黒委員＞

石黒です。どうかよろしくお願ひいたします。

＜高木課長＞

奈良県サイクリング協会 副会長 上垣憲一様。

＜上垣委員＞

上垣です。よろしくお願ひいたします。

＜高木課長＞

一般財団法人南都経済研究所 理事長 西川恵造様。

＜西川委員＞

西川でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

＜高木課長＞

続きまして、出席しております奈良県職員を紹介いたします。

奈良県産業部長の森本でございます。

＜森本部長＞

森本でございます。よろしくお願ひいたします。

<高木課長>

産業部次長の奈良でございます。

<奈良次長>

奈良でございます。よろしくお願ひいたします。

<高木課長>

競輪場長の池田でございます。

<池田場長>

池田でございます。よろしくお願ひいたします。

<高木課長>

競輪場次長の田淵でございます。

<田淵次長>

田淵でございます。よろしくお願ひいたします。

<高木課長>

経営支援課課長補佐の間林でございます。

<間林課長補佐>

間林でございます。よろしくお願ひいたします。

<高木課長>

経営支援課係長の川村でございます。

<川村係長>

川村でございます。よろしくお願ひいたします。

<高木課長>

以下は省略させていただきます。

それでは、産業部長の森本より、ご挨拶を申し上げます。

<森本部長>

皆様、本日は年末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

昨年12月に開催した第25回あり方検討委員会において、「競輪事業継続」の提言をいただいたことを受け、本年2月に県として競輪事業の継続することを決定するとともに、競輪場の再整備等を発表させていただきました。また、この提言を踏まえて、前回7月に開催した第26回委員会では、「最終報告書の構成（案）」や「後継委員会を含む委員会等の進め方」などについて、ご審議いただきました。

前回第26回委員会後には、各委員の皆様にご協力いただき、最終報告書の作成を進めていただいたところでございます。

今回の委員会では、各委員のご意見を踏まえて作成した最終報告書（案）、及び委員会の今後の進め方について、委員皆様の活発なご意見を賜りたいと考えておりますので、本日は何卒お願ひいたします。

＜高木課長＞

議事に入ります前に、会議の公開についてですが、傍聴を希望される方がおられますのでご了承願います。

なお、傍聴される方のお手元に、傍聴要領を配布しております。記載された注意事項にご留意いただき、議事の進行を妨げないよう、お願ひいたします。

では、松岡委員長、議事進行方よろしくお願ひいたします。

＜松岡委員長＞

それでは本日の次第に沿いまして進めてまいりたいと思います。各委員のご協力方よろしくお願ひいたします。

まず、議題I「今後の方向性について」、資料1ページの「(1)前回までのおさらい」から資料2ページ及び添付資料の「最終報告書 本編（案）及び概要（案）」について、事務局より説明をお願いします。

＜間林課長補佐＞

経営支援課の間林です。着座のまま、失礼します。

目次をご覧願います。資料に従いまして(1)前回までのおさらい、(2)今後の方向性について①最終報告書本編（案）、②最終報告書概要（案）の順で説明させていただきます。

1ページをご覧ください。前回までの議事内容についてのおさらいです。

ページ中段をご覧ください。前々回の第25回委員会において、競輪事業継続のご提言をいただいたところでございますが、提言と併せて、委員様から「最終報告書の作成」、「後継委員会の設置」、「老朽化対策等の検討状況」について、ご意見をいただきました。

これらのご意見を踏まえ、ページ下段、前回の第26回委員会において、事務局より「最終報告書の構成（案）」・「後継委員会の概要（案）」・「各委員会等の進め方（案）」・「施設の老朽化対策における方針（予定）」の案をお示し、ご承認いただいたところでござ

います。また、最終報告書については、当委員会でご承認いただいた「最終報告書の構成（案）」を基に、事務局と協力して、各委員の意見を踏まえ作成し、委員会（第27回）において、最終報告書の最終確認を行い、その後県に対して提出いただくとのご意向を頂戴しております。これらの意見を踏まえ、今回の委員会では、最終報告書（案）を中心にご審議いただきたいと考えております。

添付資料をご覧ください。「最終報告書 本編（案）」について、構成に沿ってご説明いたします。委員の皆様には、事前に内容をご確認いただいているとは存じますが、改めてご説明いたします。

まず、目次をご覧ください。本報告書は5つの章で構成されています。1章では競輪事業全体の現況、2章では奈良競輪場の現状、3章ではこれまでの取り組みと経営状況、4章では奈良競輪場の今後のあり方、5章では総括を示しています。これに加えて、委員名簿や規則などの資料編が付いています。

この章立てに沿って、記載内容のポイントをご説明します。

はじめに、1～4ページ 1章についてです。この章では、「報告の概要」として、当報告書の位置づけ、競輪事業の目的、仕組み、関係団体、競輪全体の売上状況などについて記載しています。

主な内容としては、法律上の目的、施行者・JKA・選手会などの役割、近年回復する全国売上状況、ネット投票の普及などといった内容をまとめています。

次に、5～6ページ 2章についてです。この章では、奈良競輪場の概況、県財政等への貢献について記載しています。

主な内容としては、奈良競輪場の沿革と概要、これまでの一般財源への操出や雇用創出といった内容をまとめています。

次に、6～15ページ 3章についてです。この章では、本委員会の経緯と取り組み、奈良競輪場の経営状況、中長期的な収支見通しについて記載しています。

6ページの本委員会の経緯では、平成24年の設置以来、「包括外部委託導入」「競輪事業の継続判断」など段階的な方針決定を行ってきた経緯を示しています。

7ページから9ページでは、当委員会で示された取り組み方針に基づき、行ってきた取組を示しています。

10ページから12ページ上段では、奈良競輪場の収支推移とこれまでの取組に触れながら、近年の収支推移を示しています。

12ページ下段から15ページでは、中長期的に競輪運営が可能かを判断するために、確認した中長期的な収支見通しを示しています。

また、15ページでは、最新値に基づき再度行った試算結果を示しています。

次に、16～18ページ 4章についてです。この章では、奈良競輪場を取り巻く状況、

委員会の報告について記載しています。

16ページでは、本委員会で今後の方向性を判断するための奈良競輪場を取り巻く状況として、「全国的な動向」「奈良競輪場の状況・取組」「今後対応が必要である課題」について、まとめております。

17ページでは、委員会としての結論を記載しております。こちらは、第25回委員会での提言と同様のものになります。

最後に、19ページ5章についてです。これまで27回の審議を重ねてきたこと、経営改善により事業継続の見通しが明確になったこと、一方で、施設整備と運営改善を継続して検討する必要があること、といった内容で総括しています。

簡単ではございますが、以上が最終報告書の本編（案）の説明となります。

資料に戻っていただき、2ページをご覧ください。「最終報告書 概要（案）」についてです。

概要におきましても、委員の皆様には、事前に内容をご確認いただいているとは存じますが、改めてご説明いたします。ページ左側は、委員会の設置から、第25回委員会での提言までの間において、段階的な方針決定を行ってきた経緯を示しています。ページ右側は、先ほどご説明させていただいた最終報告書本編の概要として、総括及び委員名簿を示しています。

資料の説明は以上です。ご審議よろしくお願いします。

＜松岡委員長＞

ただいま事務局から説明のあった内容について、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

（※各委員質問・意見なし）

それでは、添付資料の「最終報告書 本編（案）」、及び資料2ページの「最終報告書 概要（案）」について、異論はございませんでしょうか。

（※各委員異論なし）

それでは、当該案を最終報告書とさせていただければと思います。また、当最終報告書を事務局に提出させていただきたいと思います。他になければ、次の事項に進ませていただきます。

では、次に資料3ページを、事務局より説明をお願いします。

＜間林課長補佐＞

3ページをご覧ください。「③今後の進め方」についてです。

はじめに、「後継委員会の概要」です。本年9月議会での承認を受け、「奈良県営競輪場活性化等検討委員会」を設置しました。今後、「県営競輪の経営活性化に関する事項」及び「県

「営競輪の再整備及び敷地活用に関する事項」について、審議いただく予定です。

次に、「各委員会等の進め方（イメージ）」です。先ほど最終報告書のご承認いただいたことを踏まえ、来年2月議会での承認を経て、本あり方検討委員会を廃止させていただく予定です。また、最終報告書は、県に提出いただいた後、議会報告やHPでの公開を予定しております。活性化等検討委員会については、令和8年度の設計・施工・運営事業者の選定等に向け、今後随時開催をしていく予定です。

以上で、ご説明を終わります。引き続き、ご審議よろしくお願いします。

＜松岡委員長＞

ただいま事務局から説明のあった内容について、ご質問、ご意見はありますでしょうか。

（※各委員質問・意見なし）

他になければ、次の事項に進ませていただきます。

それでは、議題III「その他」について、何か奈良競輪に関することで、ご質問、ご意見等はありますでしょうか。

（※各委員質問・意見なし）

意見がないようでしたら、これにて本日の全ての議事を終了します。今回で委員会が最終回となります。委員の皆さまには、事前の調整も含め、これまで活発なご議論をいただき、本当にありがとうございました。

なお、最終報告書については、当委員会終了後に引き続き、県に提出させていただこうと考えております。

それでは、進行を事務局にお返しします。

＜高木課長＞

松岡委員長ありがとうございました。

それでは、最後に部長の森本より閉会のご挨拶をさせていただきます。

＜森本部長＞

本日も誠にありがとうございました。

本日は、これまで委員の皆さまに丁寧にご検討いただいてまいりました最終報告書につきまして、案が取りまとめられ、確定するに至りました。これもひとえに、委員の皆さまのご尽力の賜であり、改めて深く感謝申し上げます。

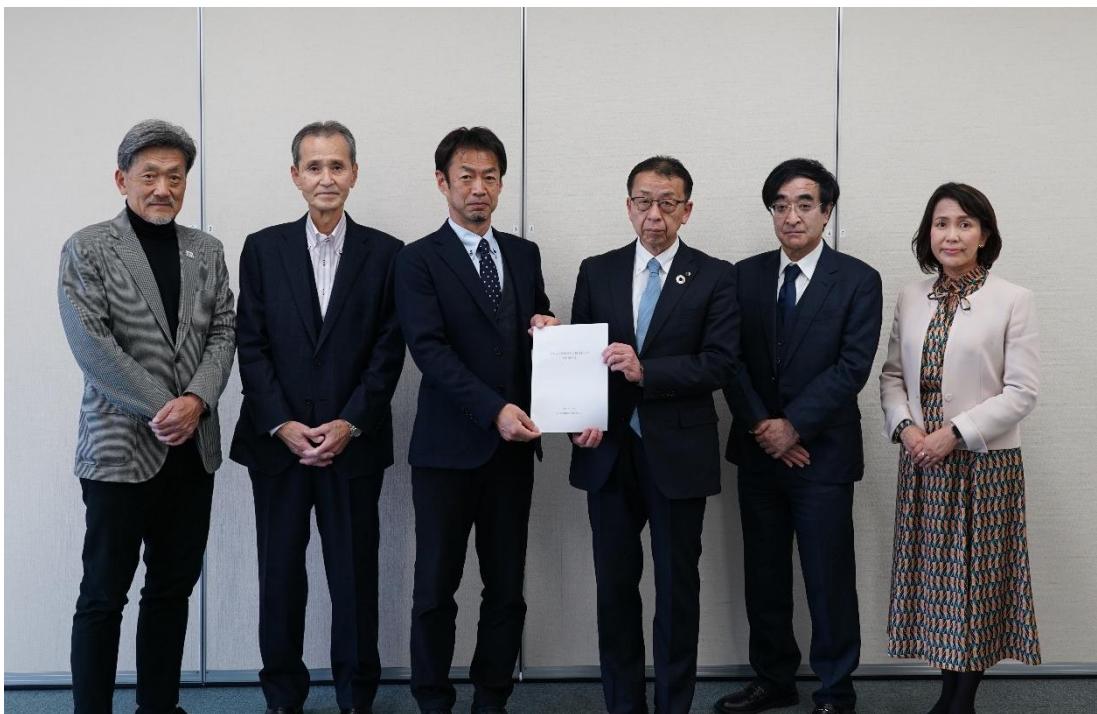
今回の委員会をもちまして、あり方検討委員会としての活動は一区切りとなります。後継委員会において競輪場の再整備や活性化に向けた議論が引き続き進められることとなります。県といたしましては、これまで本委員会で示していただいた方向性を今後の取組に十分生かしていくよう、着実に事業を進めてまいります。

各委員の皆さんには、公私ともにお忙しい中、長きにわたりお力添えをいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。それでは、これをもちまして本日の委員会を終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

(14:25終了)

※委員会終了後、委員会より奈良県に最終報告書提出。



▲最終報告書提出の様子（令和7年12月22日14時半頃）

※左より、西川委員、上垣委員、松岡委員長、森本産業部長、石黒委員、石川委員